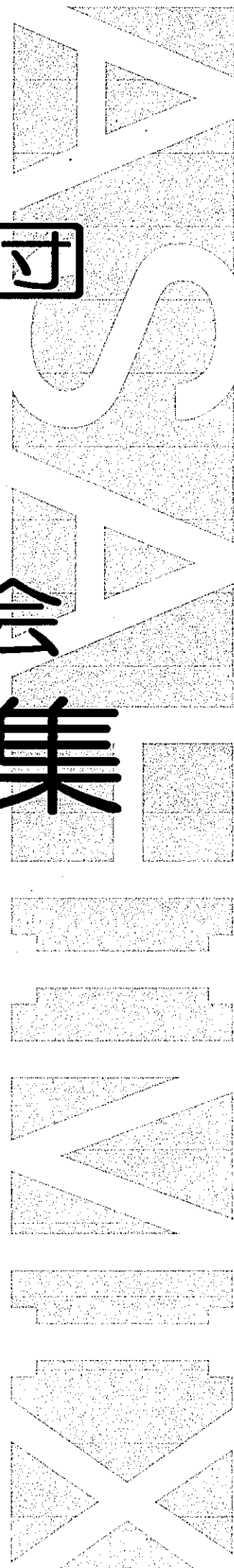


旭混声合唱団

第5回演奏会
ひとこと集



2003年5月25日(日) セとしんエンゼルホールにて

旭混声合唱団第5回演奏会が開催されました。

単独での初めての演奏会は、会場に入りきれないほどの聴衆を迎え、

大成功のうちに幕を閉じました。

このひとこと集は、各団員の演奏会の感動と反省をひとつにまとめたものです。

思い出の一冊として、また、第6回演奏会のための資料として

お手元においていただければ幸いです。

(順不同・敬称略)

拓

ちゃんのタンバリンが“パーンッ”と入った時から全ステージを通してとても気持ちよく歌えた。そして、2曲目を歌い終った頃、先生が100万ドルの笑顔をかえしてくれた。あれでいけると思った。選曲もよかった。頂上に登って雲海をながめる爽快感があった。今回オカリナを入れていただいて私としては大変勉強になった。

“鳥舟”をどう表現するかということのむずかしさ、何度も練習して1度も満足したことはなかったが、1つ1つの音に深い意味があるんだなあと思った。あらためてプロはすごいと思った。

20周年への目標ができたが、先生もさらに高いものを求めてくるので（先生は今迄のは妥協していたのだと云われるかな）、心して挑みたい。そう、わら半紙2枚の世界・・・に泣かされながらもなんとかクリアするぞ！！

松本 恵美子（アルト）

ち

よっと長くなりますが、今年は新年よりろくなことがなく、特に会社の部下の家族が死んだり、野球部で2遊間をくんでいた人が死んだり、はたまた、父さんがなくなった直後に部下がガンにかかったりでその様に暗いことばかりでした。4月13日のモーツァルトレクイエムはなくなった人のために歌いました。今回の演奏会では、ガンとたたかっている部下のために歌いました。はげましになればよいと思います。

合瀬 弘正（テノール）

ひ

とまずホッとしたのが正直な実感。

でも「海鳥の詩」は旭混声としての頂点をなす出来映えと思います。

次のステージでは今回のミュージカルの様な楽しい外国ものを暗譜で歌いたい。

松本 義明（ベース）



完

全ではなかった（ミュージカル）ものも有りますが、とても良き、思い出の1ページが出来ました。名古屋市民の友人が“「名古屋に来て」と云おうと思ったけれど、すてきな指揮者と楽しい団にいたのだったら、がんばって歌っていてネ”と云ってくれました。

酒井 富子（アルト）

緊

張のため、声が出なくなるんじゃないか・・・という心配は無用でした。第2ステージは、暗譜できてなくて一番自信がなかったのですが、聴いている人にもその気持ちは伝わるんですね。

アンケートを読んでよく分かりました。

次の機会は（続けていられたら・・・）早めに、曲を自分のものにして、歌いたいです。

あまり練習熱心とはいえない私も、仲間に入れて下さり感謝の気持ちです。

あと、アルトの声が、CDで聞いていて、よくきこえていてうれしかったです。

後藤 せつ子（アルト）

久

しぶりの演奏会出演で緊張感の中にも楽しく歌うことができ、とても良かったです。何よりも聴いて下さった方々の評価が全体として高く喜んでもらえたことが嬉しい。オーバーな表現ですが、感動を共有でき、すばらしい演奏会でした。

酒井 敏行（テノール）

今

までは自分自身が言葉やメロディに酔っていて、胸がつまって歌えなくなったりした事があったのですが、今回の演奏会では「音」で気持ちを伝える事が出来た様に思います。

大沢 泊子（アルト）



暗

譜で・・・という気持ちで全曲を練習してこなかったのが正直な気持ちです。

直前になって懸命に取り組んだので、本番では自分なりにまあまあだったかなと思います(ミュージカル以外は・・・)。

おさそいして、来て下さった方々は殆どの方が「とても良かった」と言って下さいました。これから、暗譜をめざして取り組もうと思います。

長谷川 美智子 (アルト)

私

は練習不足で反省してます。特に2部です。

ステージで立つからには、もっとやるだけやったという思いがなくてはいけないと思う。

須寄 麻弓 (アルト)

練

習が大好きと思っていましたが、舞台のよさは格別、つくづくいいなと思いました。

でもまだ暗譜が完全でないうちにあっという間の本番でした。少しずつの積み重ねの時にしっかりやらなかったことを深く反省しています。といっても毎日のビッシリスケジュールにどうやって練習時間をとるか私の課題です。

中畑 チズ子 (アルト)

自

分自身は暗譜も不完全で反省でいっぱいですが、本番でみんなの声がとてもよく聞こえて、「合唱」がすごく気持ちよかった。

楽しかった！

練習をちゃんと積んで歌う喜びがあるのですね。

反省—今度こそちゃんと暗譜するぞお！

久保 則子 (ソプラノ)

ASAHI MIX

私

は入団して1年になります。こんな大きな舞台があるとは思っておりませんでした。が、たくさんの曲を暗譜こそ出来ませんでした。が、歌うことができました。お友達も沢山聞きにきてくれました。「選曲がいい、迫力がある、聞き惚れた。子供達も静かに聞いていた。又是非誘って下さい。」と言ってくれました。主人も私が熱中している事がわかったようです。カラオケのカセットから演奏会のカセットにかわりました。感動の一言です。

角田 美和子 (ソプラノ)

楽

しかった！

原 恵里子 (ソプラノ)

ち

らしゃプログラム作成に参加させてもらったおかげで、演奏会がとても身近なものに感じられました。大変な時期もありましたがとにかく楽しかったです。

当日、酒井富子さんと後っちゃんに分けてもらったドリンク剤のおかげか活力100%で気分が萎えることなく歌えました（出来はともかくそれなりに楽しめたと思います）。でも、あとで疲れがどっと...。体力は大事ななぁと実感しました。

藤田 美左紀 (ソプラノ)

友

達の感想はとてもよかったと言っていたので私もよいと思いました。

水野 真弓 (アルト)

ASAHI MIX

自

分は練習に参加しはじめるのが遅かったため、十分な練習を積むことなく本番に突入してしまった。

夢中のままであった。

もう少し繰り上げて、客観的に見ることができる段階までにしあげてからにしてみたかった。

（練習が十分にできるなら、時間があれば、鳴り物を再度やってみたい）

末松 拓也（ベース）

①

暗譜の大切さが今ごろになって解り、今までの自分にゆるしがたいものを感じました。

② 思い切り歌えて、最高でしたが、アンサンブルを乱したとは解らず、勉強、勉強。

③ 発表間際に暗譜でした。先生の言われるようにもっと早く、その気にならなければと・・・次回は。

中島 一彦（ベース）

会

場がお客様で満員になっていたので身が引きしめる思いがし、又気持ちも高揚しました。

小坂 光代（ソプラノ）

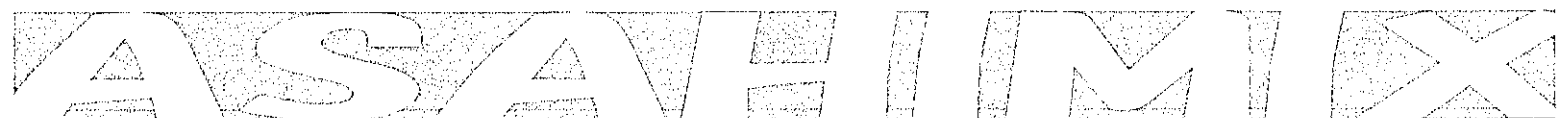
気

持ちよく歌えたので（すべてのステージではないのですが）終わった後に充実感がありうれしく思いました。

又皆さんと一緒に作りあげたという事も大きかったと思います。

今後は、暗譜により努めなければと実感しました。

大栗 尉子（アルト）



歌

い始めた時、団が一つになれたと胸にジーンとききました。

そして合唱、パートソロの部分共に、混声合唱のよさを強く感じました。

私自身は、カスタネットをする事により、各パートの声をよく聞くようになったこと。当日の演奏は力がうまく抜けたかったのですが、各パートの声、ピアノが聞けたことが、一歩前進かと思っています。

暗譜がしっかり出来てないところは余裕なく、メリハリのない歌い方になり、練習不足を痛感しました。

結果はともかく楽しかったです。神谷先生、石川先生、皆さん、有難うございました。

橋詰 ひろみ (ソプラノ)

大

病してから4年目の初演奏会でしたが、無事にしかも自分なりに精一杯歌い終える事ができてホッとしました。

早澤 満利子 (ソプラノ)

(良

かったこと)

○練習に参加していた団員はほとんど出演できたこと。

○お客様に多勢来ていただけたこと。

○合唱団および団員の経済的負担が軽くすんだこと。

(改善すべきこと)

○ 練習回数の割には、性格に音がとれなかったこと。

早澤 信昭 (ベース)



しぶりの演奏会、少し緊張しました。

入団して1年半、しかも3ステージを歌いきれるか心配でした。

特に2ステージ目の“ミュージカル・コーラスセクション”は歌い込みが少なく、スキップしたいほどの状態でしたので、びくびくして声もあまりだせなかったと反省しています。

1ヶ月半ほど前にバリトンへかわり、演奏会当日は3名（早澤さんの応援を頂き）でしたのでバランスが心配でした。

なんとか大きなトチリもなく歌い終えることが出来たのは、わかりやすく振っていただいた棒と、華麗なピアノのお陰でした。

その上絶えず笑顔で語りかけていただいたお二人にあらためてお礼申し上げます。

CDを聞き、あらためて混声の良さを認識しました。随所で女声に助けていただきました。ベースはもっとしっかりしないといけないなと再認識しました。

棒を見ること、ピアノを良く聴くことはもちろんのこと、詩を歌うこと、リズムに遅れないこと（勝手に走らないことも）、自分のパートはもちろん他のパートも良く聴くこと・・・など、課題はたくさんあります。

総じて聴きにきていただいた方々に“ますます”の評価をいただいた様子でした。これからが大変ですが励みになります。

頑張りましょう！

松山 幸夫（ベース）



しぶりの演奏会、満員のお客様を前にして、私は精一杯愉しく歌う事が出来ました。

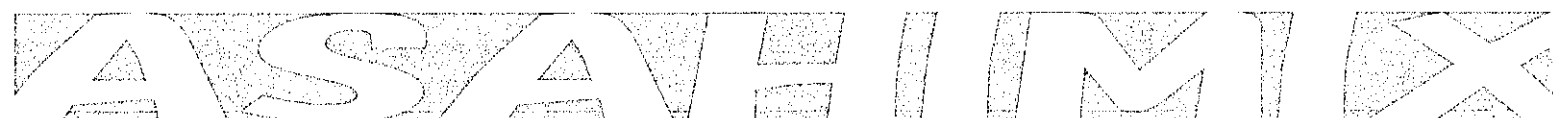
神谷先生ではじめての演奏会、新しい団員の人も含めて一人一人が一つになるとゆうか団としてまとまったのかなと感じました。

20周年に向けて頑張らねば！

個人的な事ですが、一時は声帯を痛め歌う事を断念しなければ・・・から6年、旭混声で歌い続けて17年 神谷先生・ひとみさん・団員のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。

これからも宜しくお願いします。

長谷川 紀夫（テノール）



発

表会から2ヶ月過ぎてー。

今、耳の穴を動かす練習をしている。

私の穴は「う」の型と思われるので、まずは「あ」にしたい。次は「ま」である。

みみくそが変質してきた。

真剣である。

井上 善弘 (テノール)

十

二分歌えたこと。(気持ち良かった)

暗譜が全部出来ず 特に英語、残念でした。

後が大変疲れましたが、とっても気持ちが良かったです。

井上 鎮代(ソプラノ)

出

来はともあれ、皆の気持ちが一つになって挑めたのは合唱の醍醐味で良かったです。

伊藤 さつき(アルト)

旭

混声へ入れていただいたこと、今更ながらうれしく思っております。

三年先は頼れるベースに成長します。

橋詰 喬(ベース)

と

にかく不思議なくらい緊張せず、楽しめました。指揮者もピアノもコーラスも一つになれたような気持ちになれたいい演奏会だったと思います。

後藤 恵(アルト)

ASAFLIX



全体的には、大変よかったと思います。

- 自分では第2ステージが出来ませんでした。
- もっともっと練習が必要でした。
- お客様の多かったことに感激しました。
- また挑戦したいです。

林 松男(ベース)



いろいろ苦労はあったけど、心に残る演奏会でした。

中沢 佳代(アルト)



さしぶりの演奏会でとても感動致しました。

指揮者と合唱団、そして観客が一体となったさわやかな演奏会になったと思います。

歌い続けてきて多くの指導者とめぐり合いました。

楽しく歌う事だけでなく、ハーモニーの難しさ、美しさ、人のやさしさを感じることができました。

神谷先生は音楽的センスあふれた非常にきびしい方ですが、いつも新鮮で、意欲がわいてきて、気持ちが若返ります。

練習時間が短く感じられ、これからも楽しみにしておりますので、末永くご指導よろしくお願いいたします。

谷口 千賀子(ソプラノ)



最高のコンディションでやるぞ！と意気込みすぎて・・・

それはゲネプロまででした。体調がずーっとよくなくて本番は口パク状態残念！

でも感動は今でもじわりじわり思い出しています。

吉原 直子 (アルト)



旭混声合唱団 第5回演奏会

と き 2003 年 5 月 25 日(日)P.M.2:00 開演
会 場 セとしんエンゼルホール
参加団員数 33 名(S10・A12・T4・B7)
演奏曲目 I『白いうた 青いうた』より 作・編曲 新実徳英 作詞 谷川 雁
「火の粉」「このみちゆけば」「いでそよ人を」「しらかば」「春つめたや」
「ちいさな法螺」「鳥舟」「われもこう」
II ミュージカル コーラスセレクション
『My Fair Lady ～マイ・フェア・レディ～』より Lyrics / A.J.Lerner Music / F.Loewe
「On The Street Where You Live (君住む街で)」
「I Could Have Danced All Night (ひと晩中踊れたら)」
『The Sound Of Music ～サウンド・オブ・ミュージック～』より
Lyrics / O.Hammerstein II Music / R.Rodgers Arrange 神谷伸行
「Edelweiss (エーデルワイス)」
「Do-Re-Mi (ドレミの歌)」
「Climb Ev'ry Mountain (すべての山に登れ)」
『South Pacific ～南太平洋～』より Lyrics / O.Hammerstein II Music / R.Rodgers
「Bali Ha'i (バリ・ハイ)」
「Happy Talk (ハッピー・トーク)」
「Some Enchanted Evening (魅惑の宵)」
『Carousel ～回転木馬～』より Lyrics / O.Hammerstein II Music / R.Rodgers
「You'll Never Walk Alone (独りで行くのじゃない)」
III 混声合唱組曲「海鳥の詩」 作詞 更科源蔵 作曲 廣瀬量平
「オロロン鳥」「エトピリカ」「海鷗」「北の海鳥」
観客数 424 名
指揮 神谷伸行先生
ピアノ 石川ひとみ先生

第 5 回演奏会 ひとこと集

発行 旭混声合唱団広報係

2003 年 10 月